

山形



親子で学ぶ
カーボンニュートラル



eny Environmental Network in Yamagata.
NPO法人環境ネットやまがた

特定非営利活動法人 環境ネットやまがた



かけがえのない地球環境と 山形の豊かな自然環境を守るために

特定非営利活動法人環境ネットやまがたは、かけがえのない地球環境と山形の豊かな自然を守り、共存し、調和するため、社会を構成する人々及び団体が、環境を守る役割と活動の意義を理解し深めること、自主的な取り組みを促進すること、また、持続的発展が可能な社会の実現に寄与することを目的とし、活動しています。

山形県地球温暖化防止活動推進センターや山形県環境保全協議会事務局などとしても事業を行っています。

■組織・団体が取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について
上: 海ごみで作る万華鏡 (協力:NPO法人パートナーシップオフィス)
下左: 山形の山の話
下中: 学生が行う地球温暖化の話 (山形県学生環境ボランティア)
下右: 工作の実施

〒990-2421 山形県山形市上桜田3-2-37
電話 023-679-3340
FAX 023-679-3389
E-mail eny@chive.ocn.ne.jp
URL <https://eny.jp/>



活動紹介

環境・工作教室の開催



海ごみで作る万華鏡



自然素材を使ったリース作り

プロジェクト概要

山形県は、2050年に温室効果ガス(又は二酸化炭素)排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言しており、当法人もその目標達成のために様々な活動を行っています。その一つが、山形県産業科学館の発明工房にて、年3回行っている「環境・工作教室」です。各回のテーマは「省エネルギー・再生可能エネルギー」、「森林」、「海ごみ」で、カーボンニュートラル達成のために重要なことをテーマにしています。参加者は、小学生以下の親子であり、「座学+工作」をセットにすることで、より理解が進む工夫をしています。また、山形県では大学生等に「学生環境ボランティア(やまかボ・サポーター)」を募集し、登録しています。「省エネルギー・再生可能エネルギー」では、そのメンバーが講師となり、座学では再生可能エネルギーの話やクイズを行い、その後ソーラーランタン作りを行いました。カーボンニュートラルという大きな世界のことを学びながら、地域で実践している身近なエネルギーのことを考える時間となりました。

ESD実践のポイント

山形県の第4次環境計画では、持続可能な社会をけん引する人づくりを施策の柱として、環境問題を「自分ごと」と捉えることができるような事業を展開しています。当法人でも環境・工作教室を通して、山形の環境保全を自分ごととして捉えることができるような人づくりを目指して、地球の資源には限りがあること、世界や日本の環境と山形県の自然環境は繋がっていて、相互に関わりあっていること(相互性)などを学ぶ内容としています。

担当者からのメッセージ

環境・工作教室は、毎年継続的に実施しています。参加者は低学年の子が多いのですが、保護者の方と参加することで、その場だけでなく家庭での会話・実践にも繋がる企画内容にしています。クイズを出題すると、家族で相談しあう様子も見られ、コミュニケーション能力の向上にも繋がっています。これからも、持続可能な社会をけん引する人づくりを目指し、実施していきます。



主任 二藤部 真澄さん